

白物
縫語

十七編下



13
1178
34



十七編上

外題

柳下
松林
合梓
種員作
國貞画

13
1178
33





十七編上

外題

種員作
國貞画

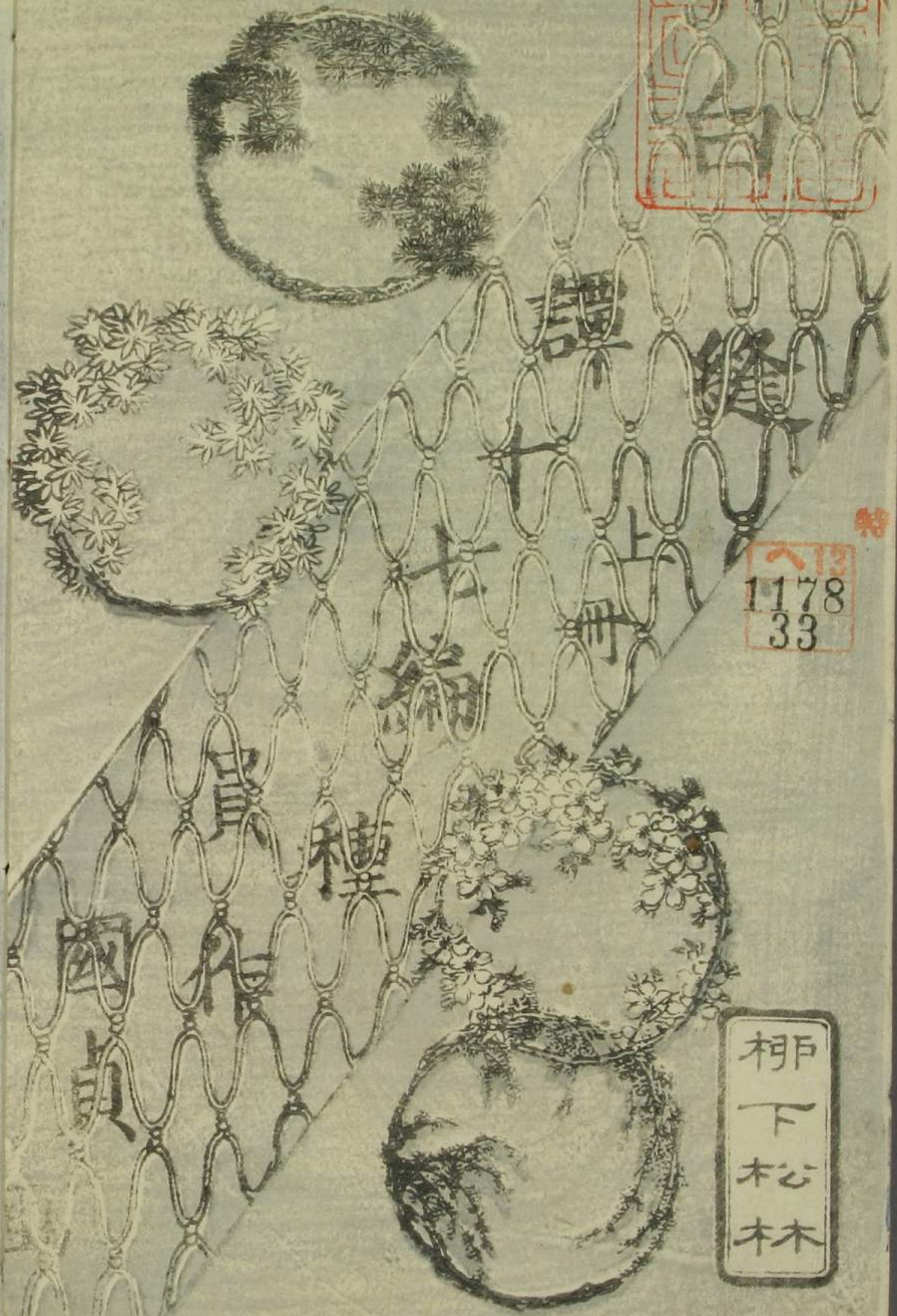
柳下
松林
合梓

13
1178
33



1178
33

柳下松林



看官各位の此策子の中不摸出龜谷光行鳥山秋作或青柳春之助等

無期前髪を剃ぬを難ト云々後と用意不聊証書と奉西鶴公羽が

一代女貞享三年印本女の子十八九才竹馬不乗門遊び男の子もこのころ

廿五おろ元服せ小かもせろ変る世やと書しとん昔の男子の

年経まで前髪と落さみが風俗を言譯ハ既不在此編より以下不説載

鞠場の初戀の為に其が主人を意趣討小杯の條も松壽軒が著

述をる武道傳來の中不載る而三種と雜文綴合せり困苦

時節不親とうの世話を先哲の書を楮みく評難と拙作の

譏笑を防ぐ吏とねぬ

嘉永甲寅孟陽

柳下亭種員記



今瀬
四洲右膳
女翠



菊地家藩士
山鹿玄之丞



曲心内匠



白梅が兄
角力取
三笠山伊達郎



巫女
白梅

伊達國史



山崎の...
...
...

山崎の...
...
...



山崎の...
...
...

山崎の...
...
...



あはれなる
あはれなる
あはれなる

あはれなる
あはれなる
あはれなる

あはれなる
あはれなる
あはれなる

あはれなる
あはれなる
あはれなる

あはれなる
あはれなる
あはれなる

あはれなる
あはれなる
あはれなる

あはれなる
あはれなる
あはれなる





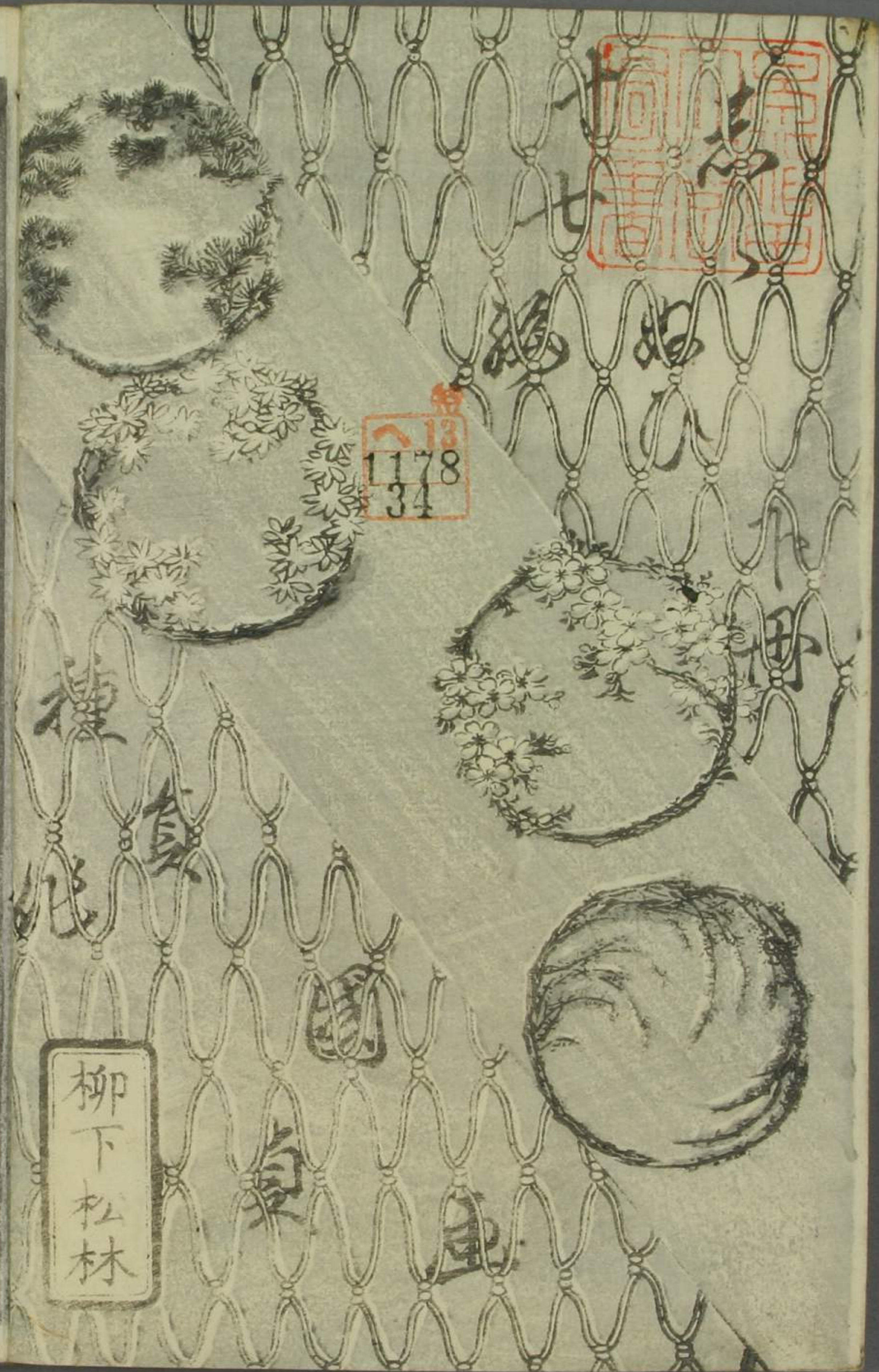
白物

縫語

十七編下



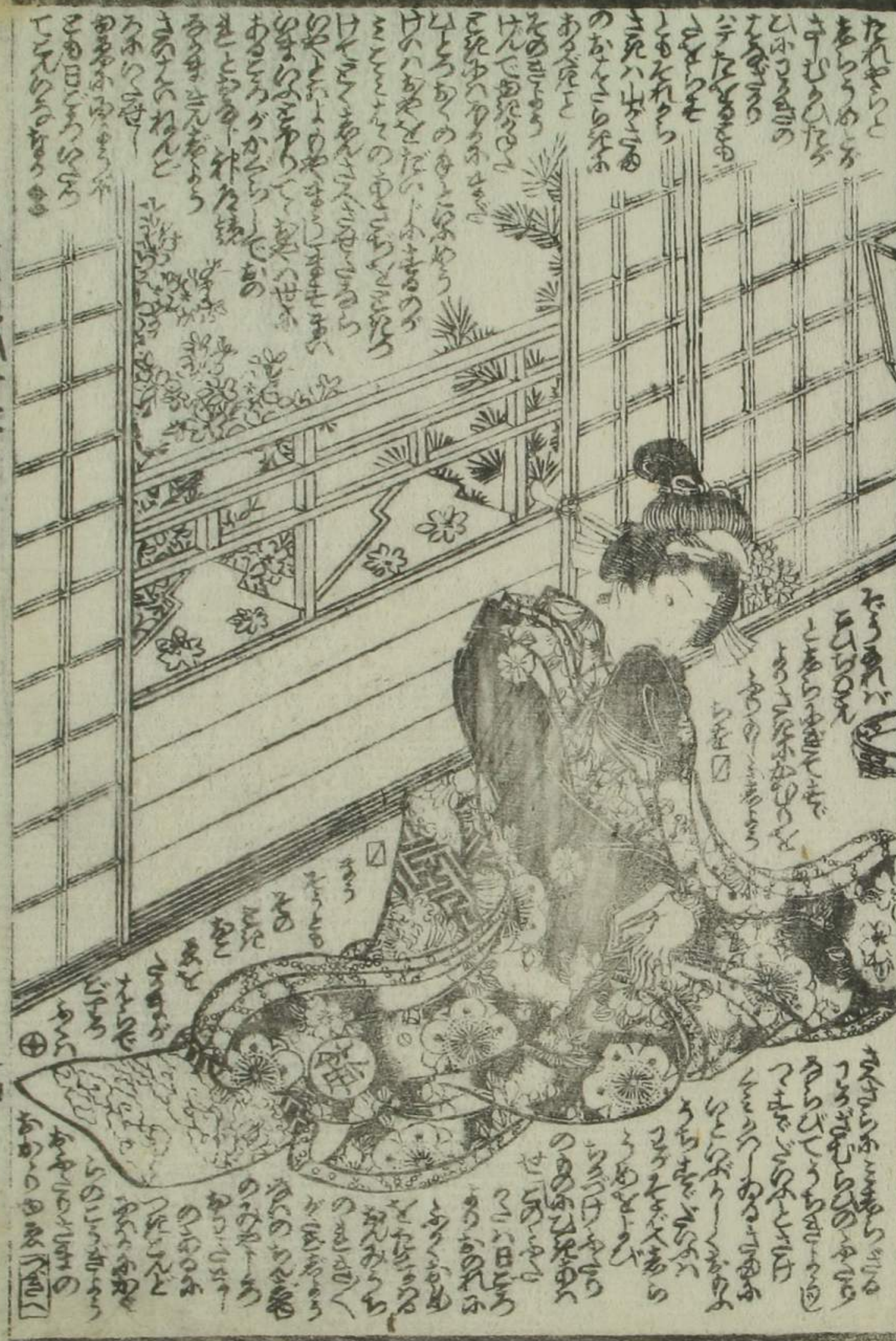
13
1178
34



柳下松林

1178
34











あつちの
あつちの
あつちの

あつちの
あつちの
あつちの

あつちの
あつちの
あつちの

あつちの
あつちの
あつちの

あつちの
あつちの
あつちの



あつちの
あつちの
あつちの

あつちの
あつちの
あつちの

あつちの
あつちの
あつちの

あつちの
あつちの
あつちの

あつちの
あつちの
あつちの

あつちの
あつちの
あつちの

あつちの
あつちの
あつちの

あつちの
あつちの
あつちの

あつちの
あつちの
あつちの

あつちの
あつちの
あつちの

あつちの
あつちの
あつちの



大町... 山... 夫人... かねて...
大町... 山... 夫人... かねて...
大町... 山... 夫人... かねて...
大町... 山... 夫人... かねて...

わが... 夫人... かねて...
わが... 夫人... かねて...
わが... 夫人... かねて...
わが... 夫人... かねて...



夫人... かねて...
夫人... かねて...
夫人... かねて...
夫人... かねて...

わが... 夫人... かねて...
わが... 夫人... かねて...
わが... 夫人... かねて...
わが... 夫人... かねて...

一、二、三、
 春の
 花の
 鳥の
 虫の
 草の
 木の
 水の
 空の
 地の
 人の
 物の
 事
 業



種員作國貞画

春の
 花の
 鳥の
 虫の
 草の
 木の
 水の
 空の
 地の
 人の
 物の
 事
 業

山屋寺
 七十五
 文
 業

